

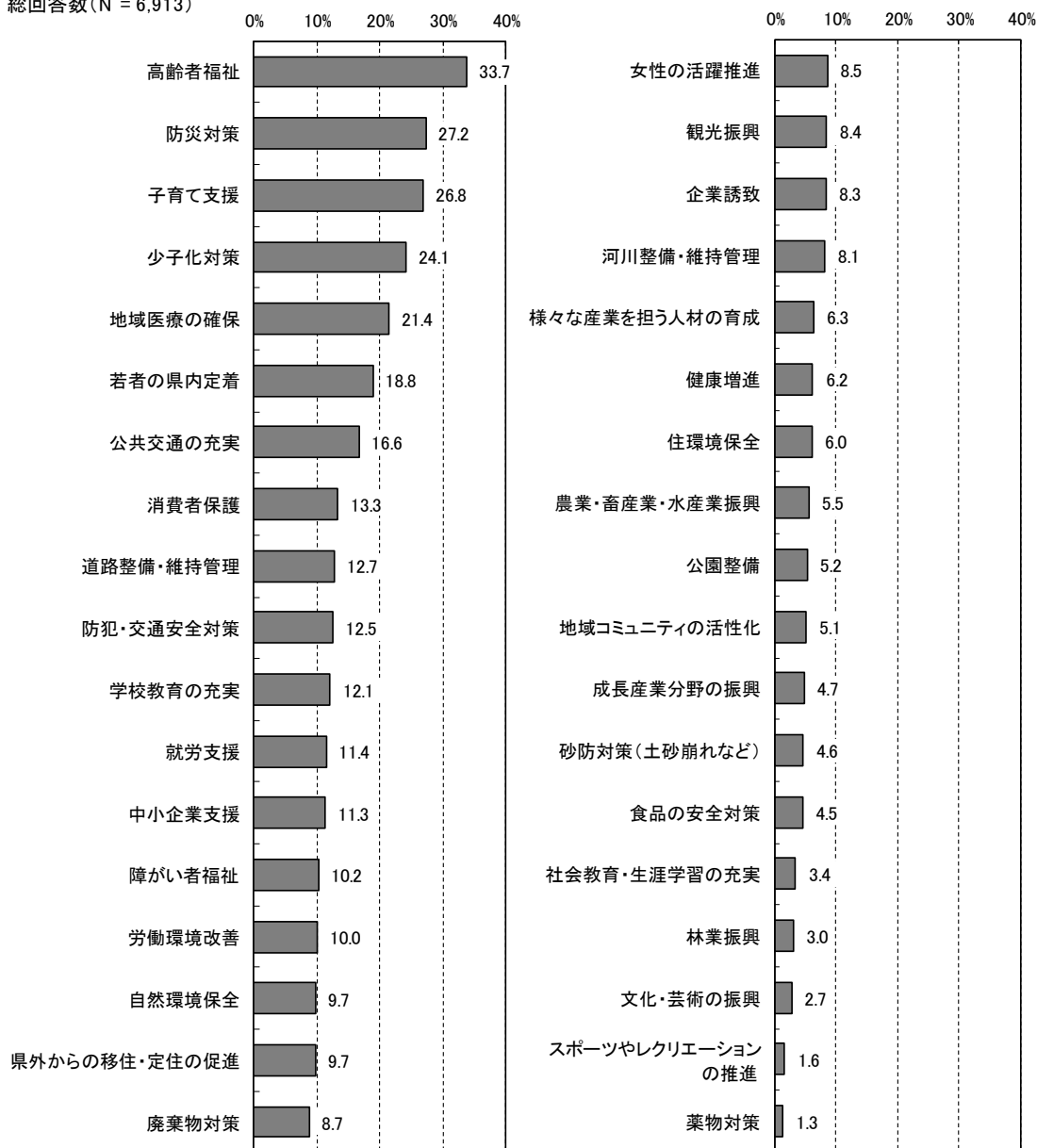
問1 1 重点的に進めるべきだと思う分野

問1 1 あなたは、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。
(5つまで)

全体(図 11-1)でみると、「高齢者福祉」が 33.7%と最も高く、次いで「防災対策」(27.2%)、「子育て支援」(26.8%)の順となっている。

図 11-1 重点的に進めるべきだと思う分野

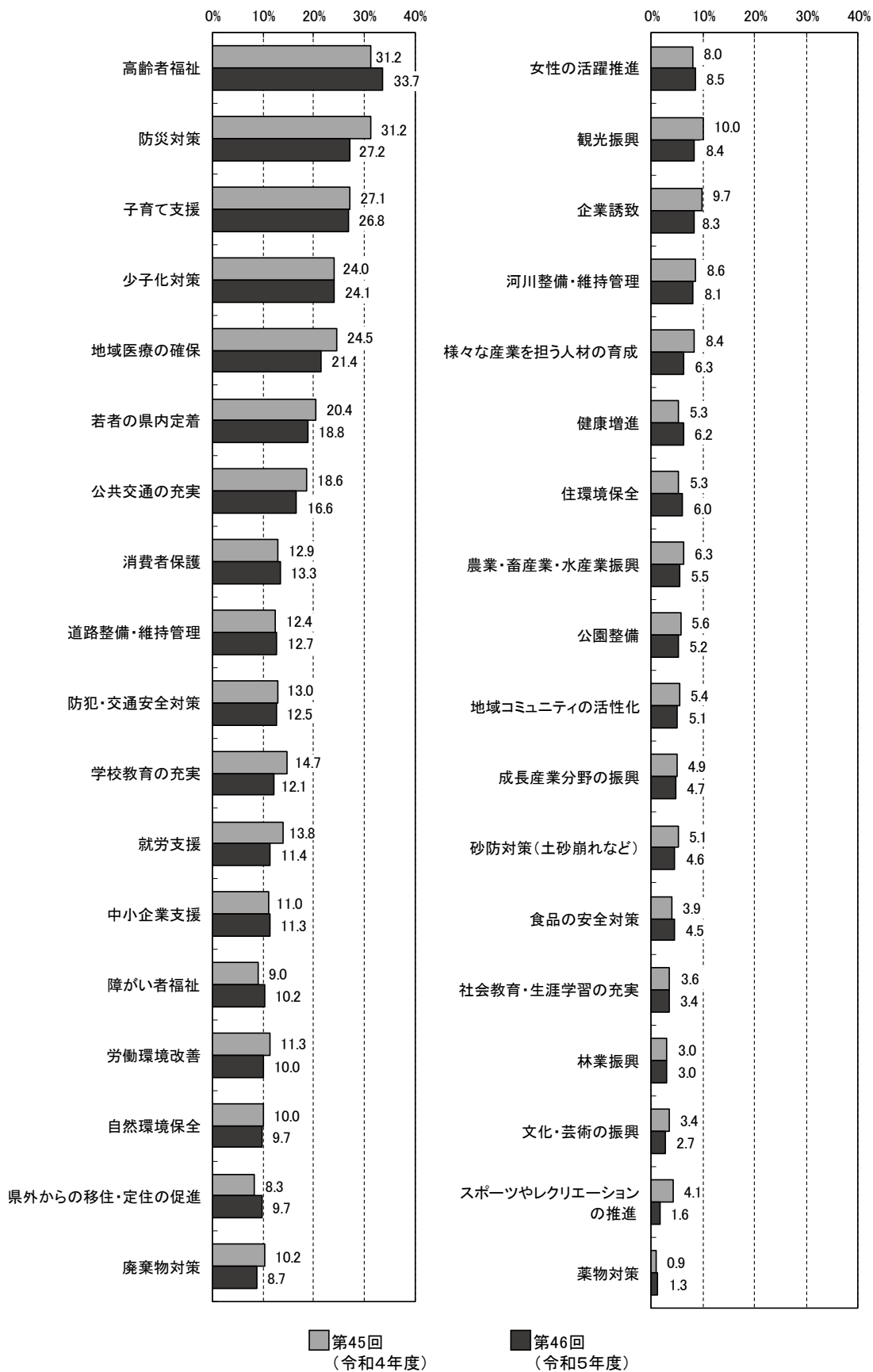
回答者数(n = 1,758)
総回答数(N = 6,913)



※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

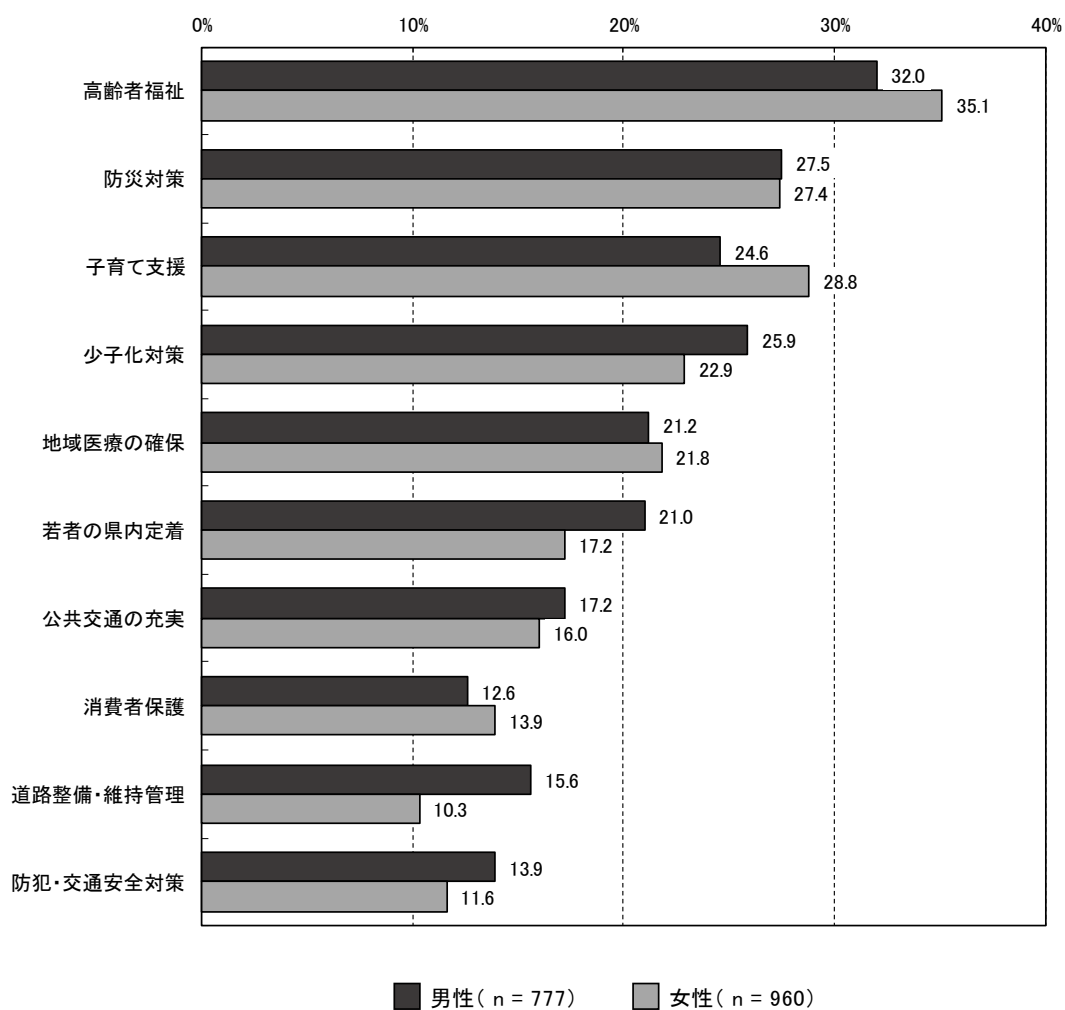
前回比較（図 11-2）で見ると、前回に続いて「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 11-2 【前回比較】重点的に進めるべきだと思う分野



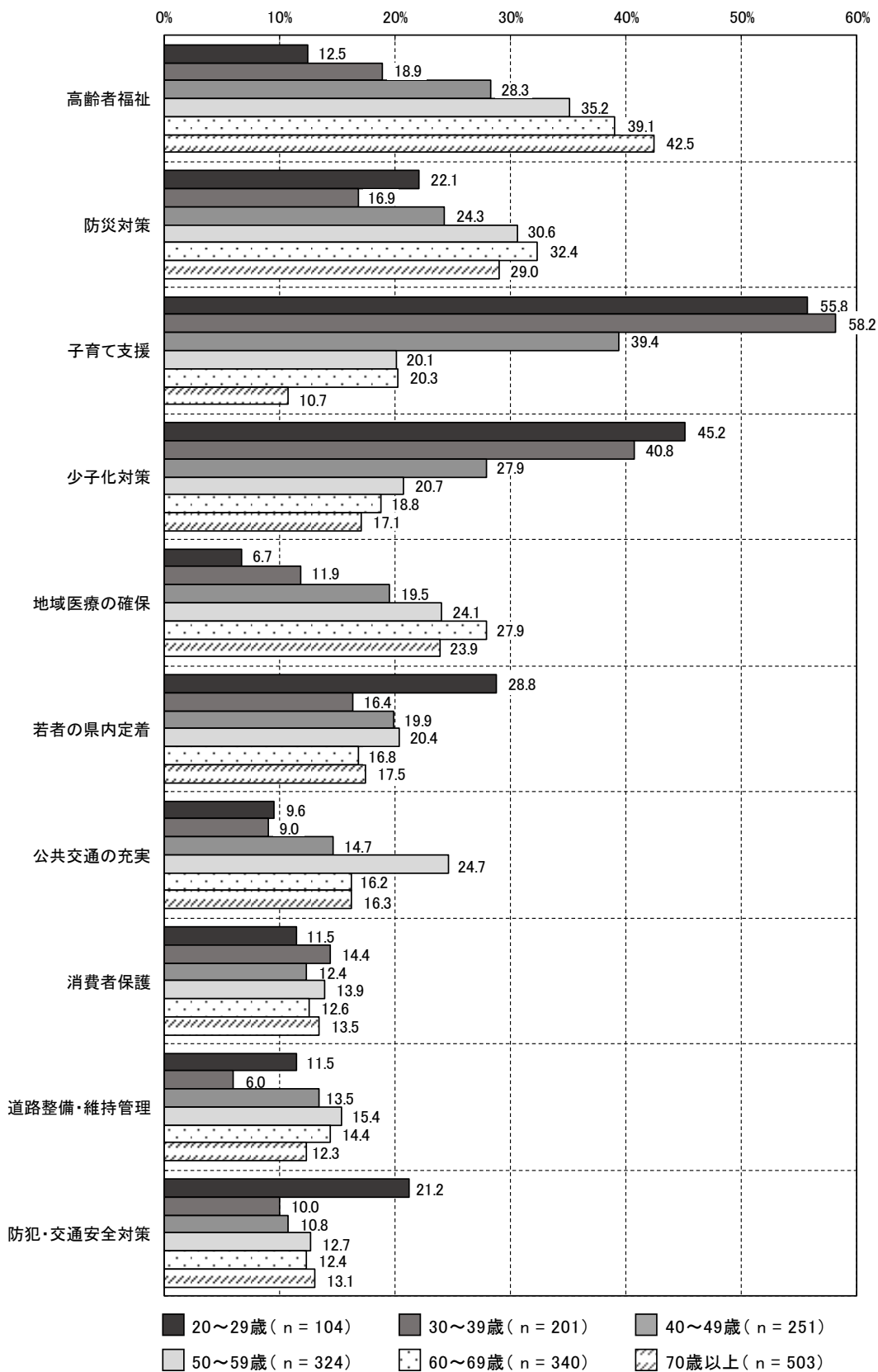
性別（図 11-3）で見ると、男女ともに「高齢者福祉」が最も高く、次いで男性では「防災対策」、「少子化対策」、女性では「子育て支援」、「防災対策」の順となっている。

図 11-3 【性別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



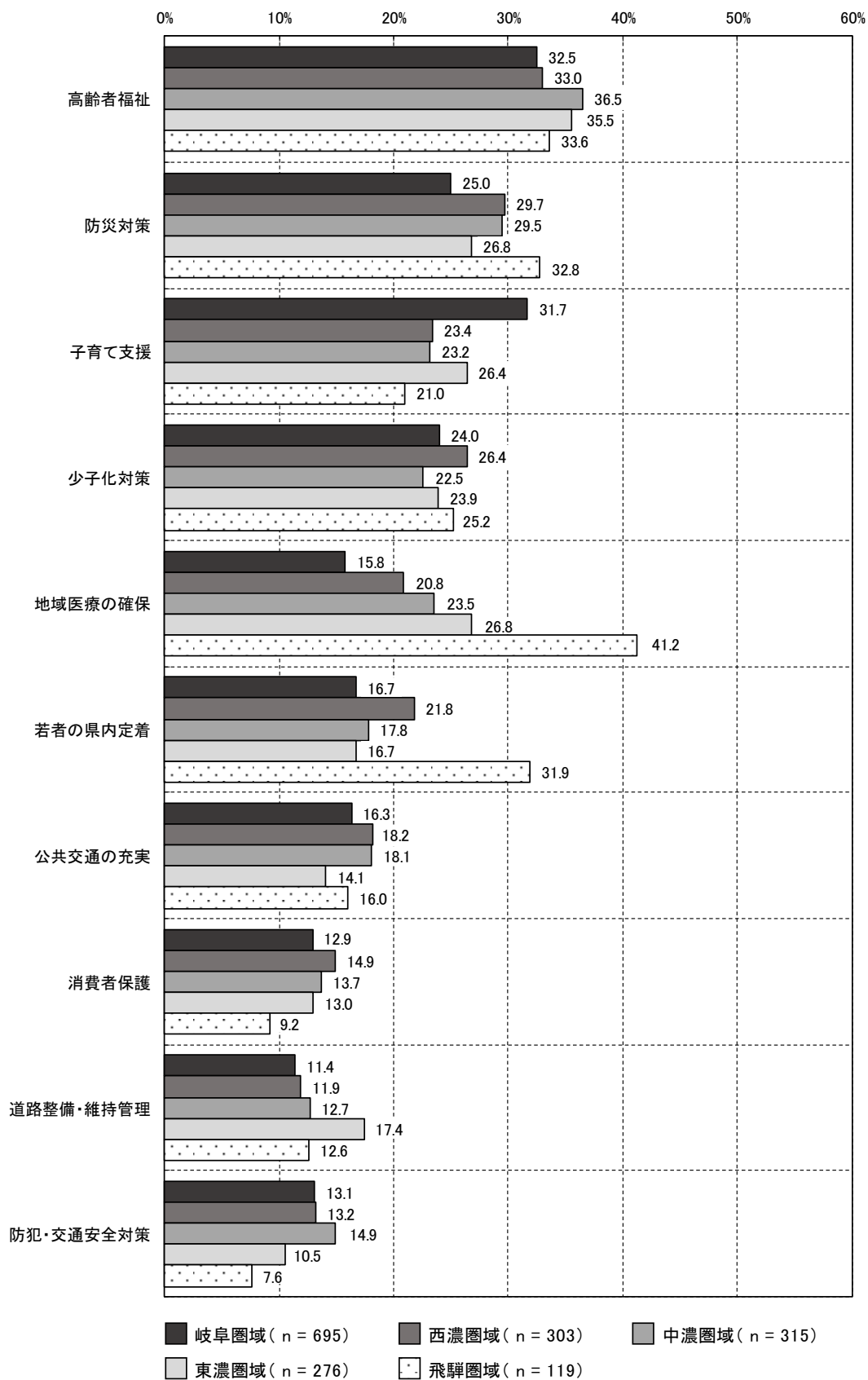
年代別（図 11-4）で見ると、20 歳代、30 歳代、40 歳代は「子育て支援」が最も高く、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 11-4 【年代別】重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



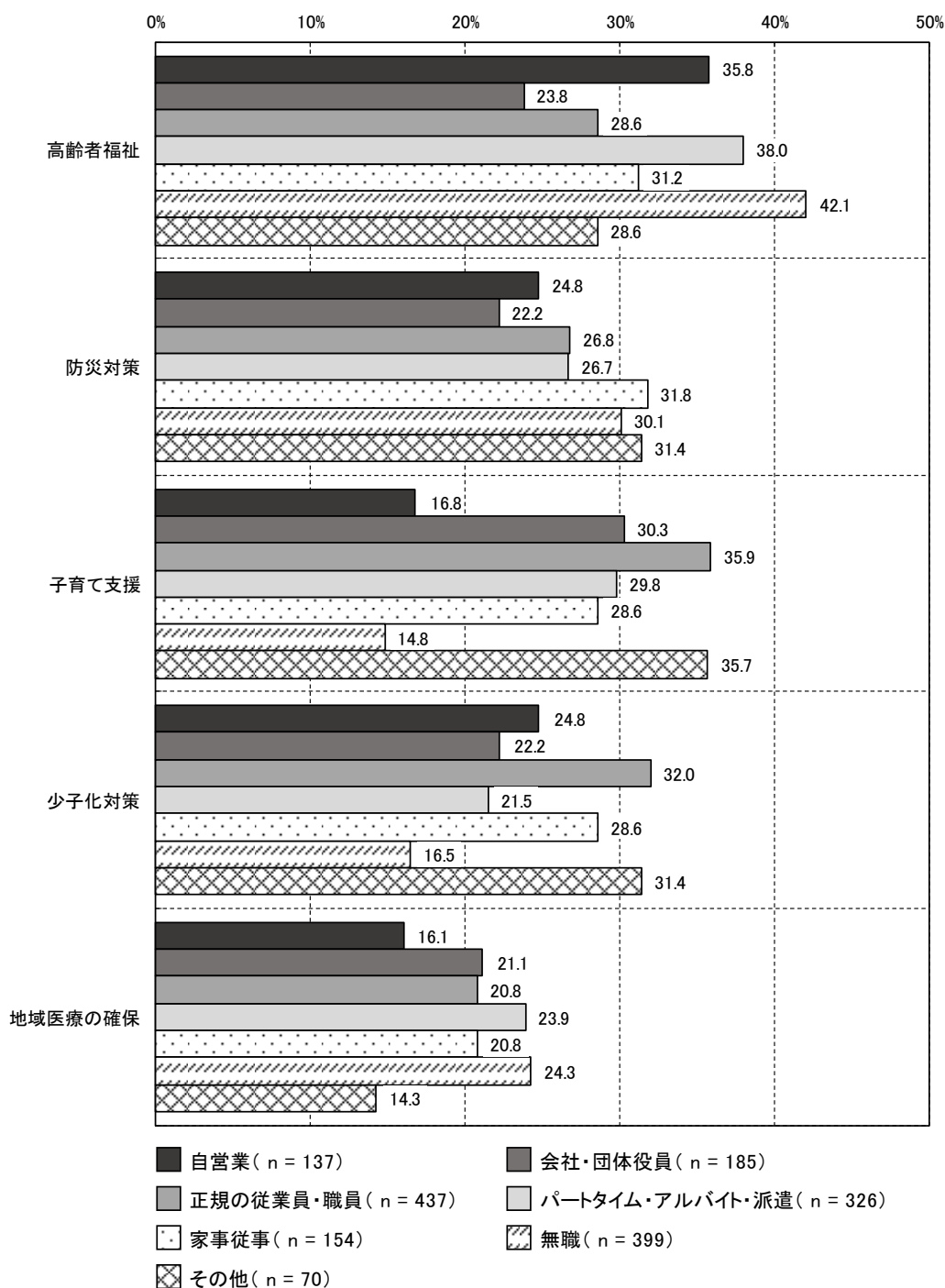
居住圏域別（図 11-5）で見ると、飛騨圏域を除くいずれの圏域においても「高齢者福祉」が最も高くなっており、飛騨圏域では「地域医療の確保」が最も高くなっている。

図 11-5 【居住圏域別】重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



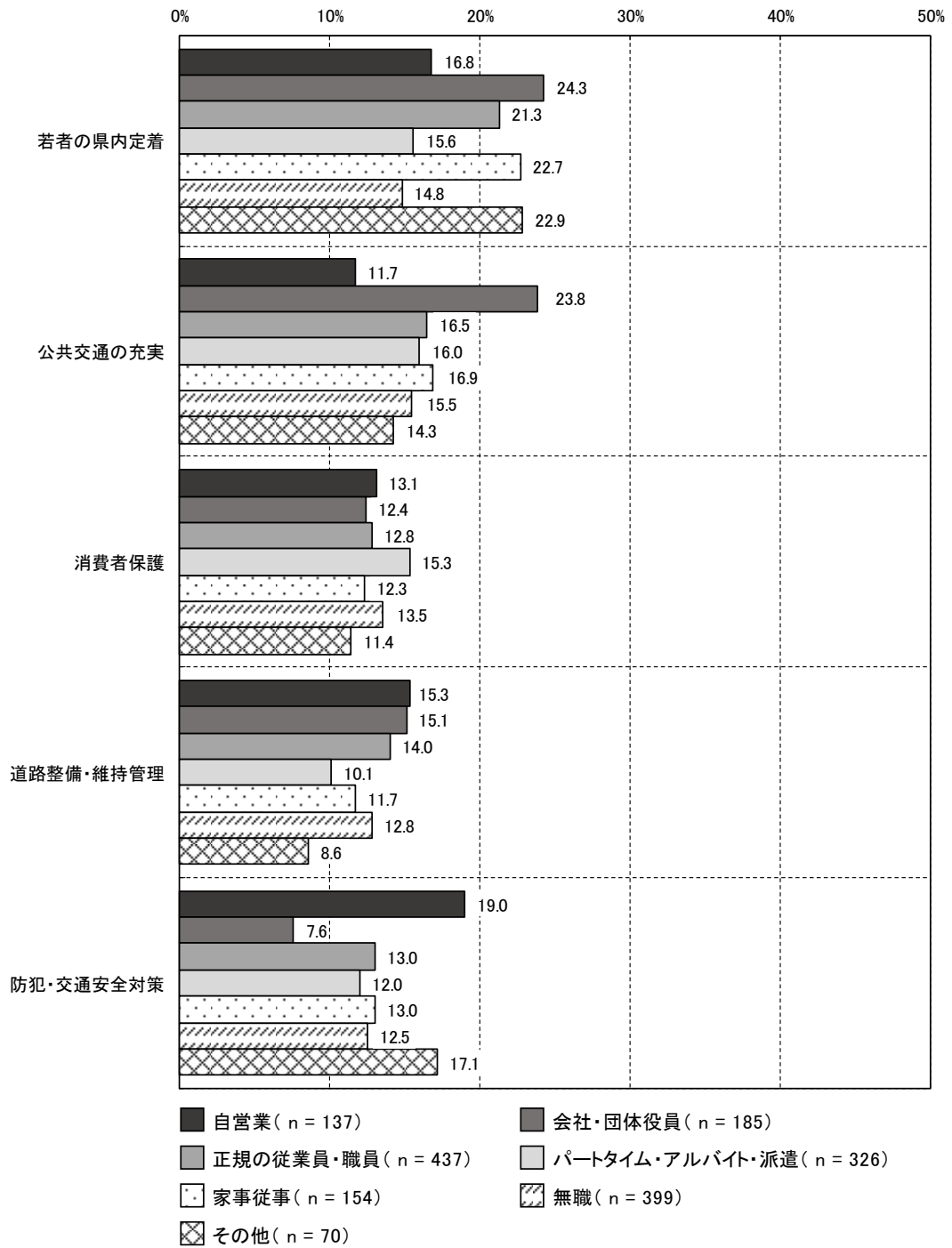
職業別（図 11-6）で見ると、自営業、パートタイム・アルバイト・派遣、無職では「高齢者福祉」が、家事従事では「防災対策」が、会社・団体役員、正規の従業員・職員、その他では「子育て支援」がそれぞれ最も高くなっている。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野（続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。